

令和7年2月20日

鶴ヶ島市長 齊 藤 芳 久 様

鶴ヶ島市議会総務産業建設常任委員会
委 員 長 出 雲 敏 太 郎

誰でも楽しめる公園の提言について

本市議会総務産業建設常任委員会では、市民と議員の懇談会及び鶴っ子議会から出た意見を基に、所管事務調査として、「誰でも楽しめる公園について」をテーマに調査を行いました。

つきましては、「誰でも楽しめる公園」について、下記のとおり提言を行いますので、その対応を求めます。

記

1. 公園に設置する遊具の増設

市内公園を視察したが、多くの公園で遊具が少なく、行って楽しくなるような公園が少ない。こども達が公園に行きたくなるような楽しい公園にするため、遊具を増やすことが望まれる。

鶴ヶ島市運動公園にこども達が楽しめる遊具を増設し、市総合計画の重点戦略「こどもにやさしいまちづくり」を推進すること。

2. 公園の園路、ベンチ、トイレ等の整備

(1) 園路

市内の公園の園路が、根上がりにより隆起し、転倒する危険性がある。根上がりの解消や園路の修復等を行い、歩きやすい園路にする必要がある。

(2) ベンチ

ベンチの木が腐って、座れる状態でないものがあった。定期的な塗装をするなど、いつでも座りたくなるベンチにする必要がある。

(3) トイレ

公園内のトイレの洋式化を図るなど、トイレ環境の整備をする必要がある。

以上3点を中心とした、歩きたくなるまちの拠点となる公園の整備と併せて、地域の公園として、地域で定期的に管理していく仕組みを構築していき、市総合計画の重点戦略「いつまでも健康でいられるまちづくり」を推進すること。

3. スケートボード場の設置

スケートボードは、オリンピックの公式競技として若者を中心に人気があるが、既存の施設がないため、公園や道路上でスケートボードを行い、公園利用者の安全、交通上の支障や騒音の問題が発生しているとの意見があった。市民の多様なニーズに応えるため、新たにスケートボード場の設置をすることが望ましい。

スケートボード場について、周辺住環境に配慮し、公園用地だけでなく、調整池等も候補地として考え、設置の検討を行うこと。